



まちがい5

ファイブ

今回のテーマ

本城陸上競技場

イラストのAとBを比べて、違っている部分を見つけてください。

間違いは全部で5つ(5画面)です。

※印刷のにじみや、画面番号による消えなどは含みません。

応募方法

応募は、はがきに、間違っている画面番号と、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、市政だよりの感想などを書いて、次の応募先へ。ネットも可。正解者の中から抽選で10人に図書カードを進呈します。

応募先

〒803-8501 広報室広報課
「まちがい5」係
(☎582・2236)

応募締め切り
5月6日
必着

インターネットからの申し込み(電子申請)

北九州市 ネット窓口



電子申請はコチラから

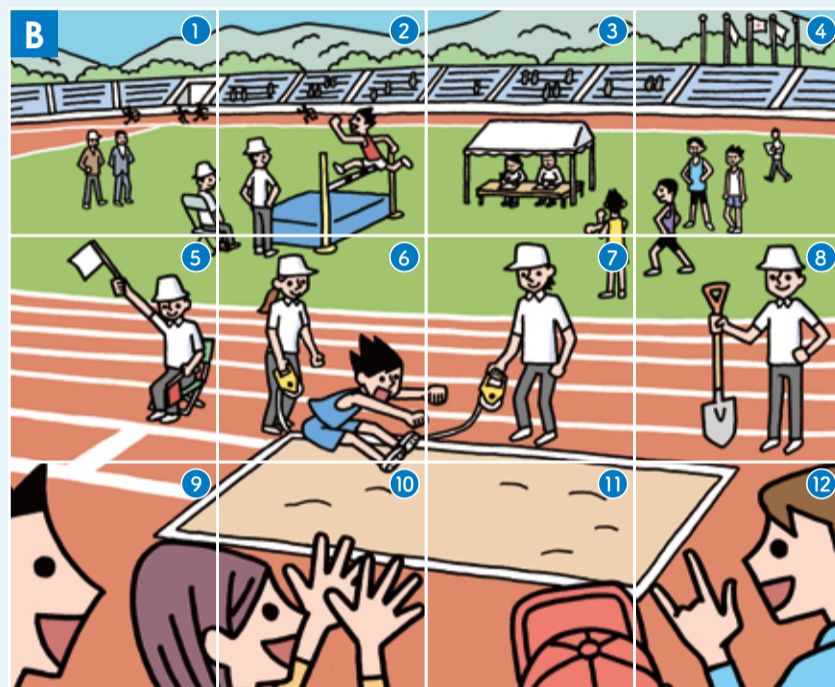
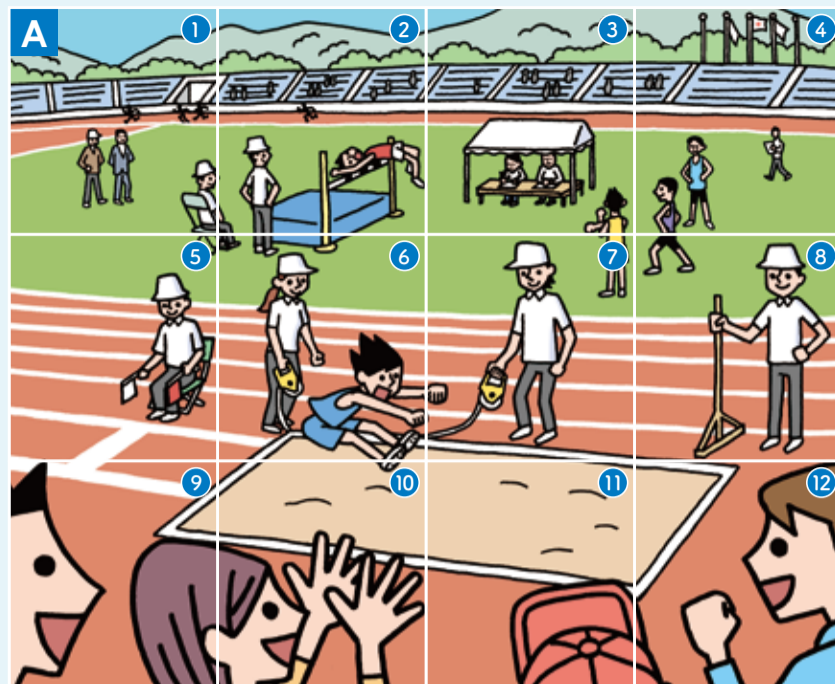
4月1日号の答え

【5つの間違い】①⑤⑥⑧⑪

- 間違い部分
- ①ネクタイの形
 - ⑤灯籠の形
 - ⑥男の子の髪形
 - ⑧ハンドバックの形
 - ⑪踏み石の形

※当選者の発表は、図書カードの発送をもって代えさせていただきます。

応募総数 **859通**



1日号の連載

今からできるSDGs

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2030年に向けてより良い社会を作っていくための世界共通の目標です。目標の達成には、私たち一人一人の行動が大切です。このコーナーでは、SDGsの達成に向けて積極的に行動している人たちを紹介します。



Vol.2 九州国際大学サッカー部

九州国際大学サッカー部では、大学周辺の美化活動を実践するなどSDGs活動を進めています。今回は部員の濱田智也さん(右)、新豊瑠希さん(左)にお話を伺いました。

SDGsの取り組みで途上国にボールを寄贈

当部では毎月8、18、28日をSDGs活動日と決め、練習後にグラウンドと大学周辺のごみ拾いや、大学近隣のJICA(国際協力機構)の皆さんと合同で市民花壇の手入れなどを行っています。活動を始めたきっかけは、新型コロナウイルスの感染拡大。練習休止期間中、「北九州市で推進しているSDGsに関して自分たちも何かしたい」という発想から、ごみの分別や食べ残しゼロなど、部員各自がテーマを決めて動画を撮影し、SNSで発信。練習再開後も、平等にサッカーができる機会を作りたいと途上国にサッカーボールを寄贈するなどの活動を継続しています。今年3月には、市内の大学生などがSDGsに取り組む企業を取材して発表する、市の「SDGs未来モデル発信事業」にも参加。活動を通じてSDGsが日々の暮らしとつながっていることを学び、世界全体を見通す視野が広がりました。

問 企画調整局企画課 ☎582・2302